

<空の安全・安心を！ 整理解雇四要件を守れ！> 2019.11.15

JAL闘争を支える京都の会News No.63

京都市東山区今熊野南日吉町 17 FAX:075-531-3856 E-mail:komai123@kfa.biglobe.ne.jp

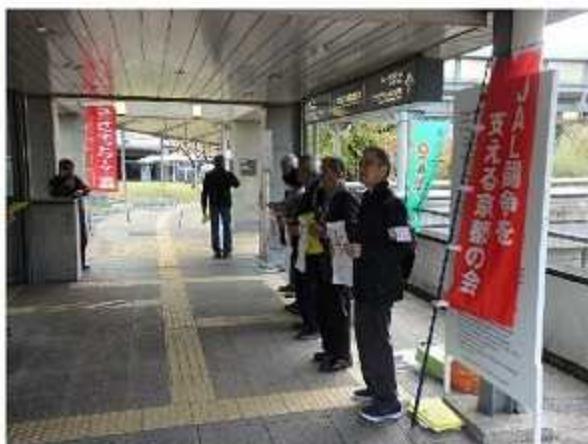
稲盛和夫元会長は責任を取れ！

京都賞記念講演会参加者に JAL 争議宣伝

紅葉も少しずつ始まったすがすがしい秋の京都市左京区岩倉。かなたの比叡山をバックにした国立京都国際会館前で、稲盛財団が行う京都賞受賞者による記念講演会参加者に向けて、JAL ベテランパイロット・キャビンアテンダント 165 名の不当解雇を撤回せよと、稲盛和夫 JAL 元会長（現・名誉顧問）に対する不当解雇撤回を呼びかけるチラシ配布とマイク宣伝を行った。



主催したのは“JAL 闘争を支える京都の会”。京都の会・駒井事務局長は「不当解雇時に JAL の最高責任者として采配を振るい、『解雇された方々にもいずれきとお返しをできる時が来ると思う』などと記者発表した稲盛和夫氏は、責任をもって解決をすべきだ。日航をはじめ空の安全を守るために、ベテランパイロットとキャビンアテンダントの方々の果たす役割は大きい。直ちに現職復帰を果たすべきだ」と訴えた。



次々に“京都の会”や支援呼びかけに応え参加された市民団体や労働組合・個人の

皆さんからも訴えがあった。きょうとユニオンの仲間からは「私どもの労組がある中小企業には、稲盛和夫さんの『教え』を学ぶ盛和塾にはいる経営者もいるが、『働く人を大事にせよ。冠婚葬祭などあったら一人ひとりちゃんと対応せよ』などと稲盛さんの本には書いてあるものの、実際





そういう経営者が日ごろ現場でやっていることは、労働者をいかに搾り取るか、けちけちを徹底して人件費・賃金をいかに少しでも節約するか、経費を削るかということばかりである。」という稲盛イズムの「実践」のひどさについての生々しい報告があった。

またある参加者は「80代後半となった稲盛さんは、今年で盛和塾を解散させるらしいが、京都賞はいつまで続くか不明だが、晩節を汚さぬよう、『さ

すが稲盛さん』と言われるような、この最高裁で不当労働行為が断罪されている問題について、『今まで一人の労働者の解雇もしていない』とあちこち書いておられる稲盛さんらしく、「JAL 争議の見事な解決をしてほしい」「JAL の株再上場時には、その情報を入手できた稲盛和夫氏＝京セラが数十億円の通常得られない利益を受けた。そういった立場からもこの争議解決の責任は免れない」など、こもごも訴えられた。

この宣伝行動には講演開始までの 90 分でちょうど 500 枚のチラシ配布ができ、高校生を含め老若男女の市民の、驚くほどの関心の高さが示された。



あれから9年
今頃は退職強要の個人面談だった...



今年中に解決する！

心からそう思います。

羽田空港アピール行動



日時 11月10日(日)12時～13時
場所 第1ターミナル到着階外通路